

# 第2回 MS-Wordを使う

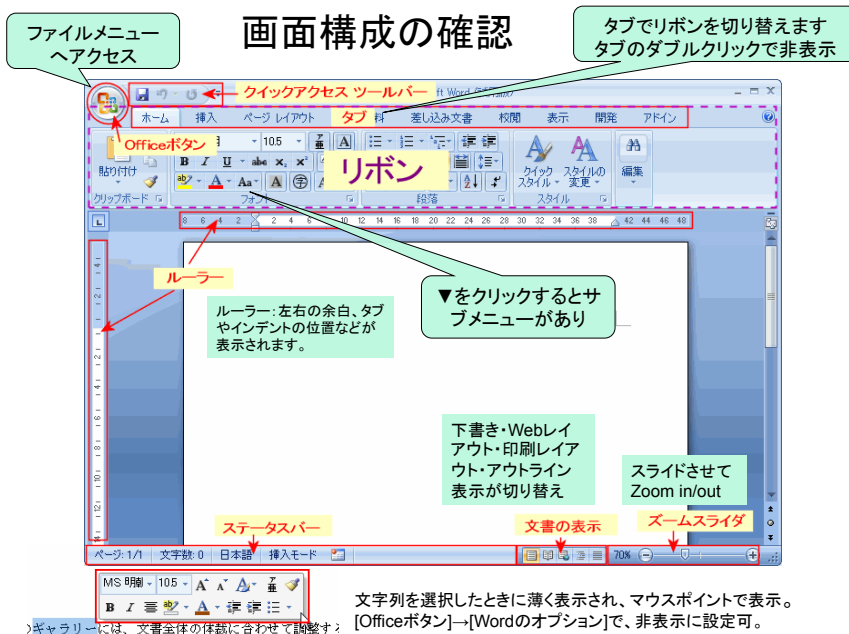
参考資料

Word(ワード)2007基本講座

<http://www.eurus.dti.ne.jp/~yoneyama/Word2007/index.html>

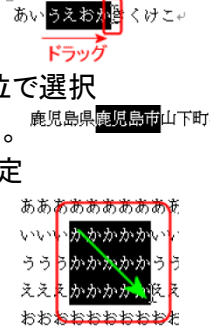
# 今日の授業とどうつきあう

- 調査最終レポート雛形.docを使って以下の説明される項目を順にやってみる. 不明の点は, ヘルプor **Word2007資料.pdf**で調べる.
- プリントをざっと見て簡単すぎると思う人は, 参考資料のWord2007資料のワード基本講座 あるいは上級編から知らないところを読んでみる.
- これもつまらないと思う人はレポートを書き始める
- ワープロは一番よく使うので, **便利な機能を知っておくと得**です. 慌ててレポートに取りかかるよりは, 機能があることだけでも知っておこう



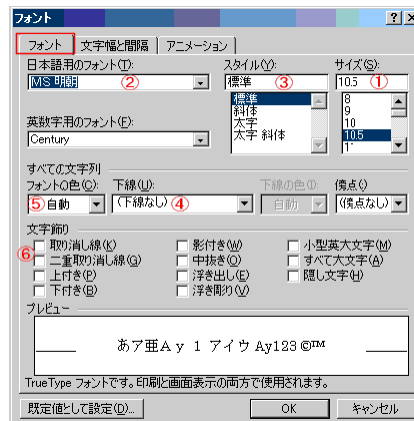
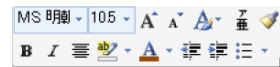
## 文字列操作をやってみる

- マウスで文字上をドラッグすると文字が選択
- 選択する部分をダブルクリックすると、語句単位で選択
- トリプルクリックすると段落単位で選択できます。
- [Shift]キーを押しながらカーソルキーで範囲指定
- [Alt]キーを押しながらドラッグしてブロック選択
- 普通に選択後, [Ctrl]キーを押しながら選択すると複数箇所
- ドラッグで移動
- コピーor切り取り後ペースト(貼り付け)
- 選択後の右クリックメニューでも可



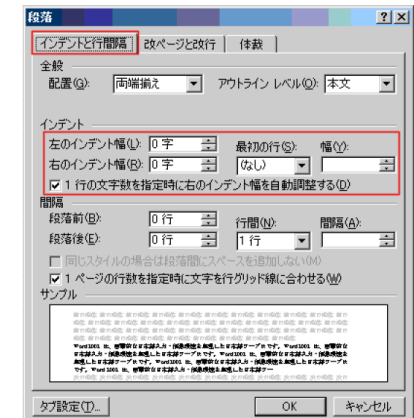
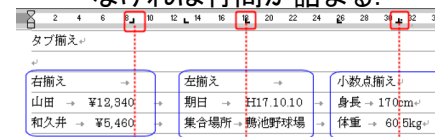
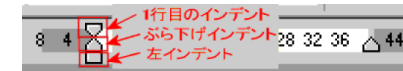
## 文字書式操作をやってみる

- 文字列を選ぶとミニツールバー
- ミニツールバーから書式設定をいくつかやってみる.
- ホームリボンの [フォント] 右下の矢印をクリックしてより詳細な設定も可
- 普通は「MS明朝」, 「Century」でOK
- 太字より「ゴシック」の方がきれい



## 文書の体裁1

- インデントとタブ? 表示リボンでルーラにチェック. 元に戻す.
- インデントとタブを変更してみる. [Alt]キーを押しながらドラッグすると細かく設定
- 箇条書きと段落番号を試す. [Shift]しながら[Enter]を押すと上の段落の続き
- リボンで段落右下矢印で右のメニュー. グリッド線に合わせなければ行間が詰まる.



## 文書の体裁2

言葉の意味だけでも知っておいた方が良く

- ヘッダー, フッターでページ番号や日付を付ける
- 特殊文字をどうやって入力する?
- 図表の番号を自動的に振る
- 索引や目次を作る
- クリップアートや写真, オートシェイプを使って図の作成, 囲み記事を入れるテキストボックスなど
- ハイパーリンクを入れる
- 2段組を作る
- テンプレートやスタイルを適用して書式を統一
- 書式のコピーと貼り付けはよく使う

## 内容と係わりのある機能 etc

- アウトライン表示でアイデアを出しながら書く練習をしよう  
構成を決めてからページレイアウトで修正
- 文書校正 赤の下波線の付いた文はおかしい, 緑なら注意
- 表記揺れもチェック
- 選択して右クリックで翻訳, 類義語(英語)や翻訳は便利
- 文字数のカウント
- 要約の作成まであるらしい
- 小さい画面なら, 倍率をズームで調節
- 分割して文書内の離れた場所を同時表示
- その他にも縦書きや差し込み印刷
- 右クリックメニューはあちこちで試してみよう

## 表の使い方

- Word2007基本講座の「表の操作法」を読んで便利と思ったことをひな形文書でやってみる
- 計算しないときはExcelより便利
- 表の右クリック, 表のプロパティーでオプションを使えば左右に余白の少ないセルも作れる

## 印刷

- 必ずプレビューすること
- プリンターから出ないからといって何回も印刷しない紙代を取られるよ
- 出てこないときは, スタートメニューから「プリンタとFAX」で状態を確認
- Acrobatで印刷すると紙ではなくPDFという形式のファイルに印刷される(フリーソフト例えばprimoPDF有り). このファイルはWordを持っていない人でも読めるので, 添付文書にしてメールで送るようなときに便利

## 数式の入力

- 諸君は理工系, 数式を入れよう
- 挿入, オブジェクト, Microsoft数式を使って以下の数式を作り文書に入れよう

$$\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$$

$$Var(x) = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2$$